

実習指導担当者さまへ お願いしたいこと

令和7年10月27日（月）

Ⅰ 3章「ケアマネジメントに必要な基礎知識及び技術」担当

ケアプランセンターカルナハウス 前田 岳史

Ⅰ 4章「ケアマネジメントの基礎技術に関する実習・実習振り返り」担当

ケアプランセンター結 葛川 寛美

本日の内容

- はじめに
- 過年度の実習について、実習生と実習指導担当者からの声（抜粋）
- 具体的な実習担当者さまへのお願い
- 最後に

はじめに

何らかの思いを持って介護支援専門員の資格を取ろうと決意し、見事に合格した受講者さんに対し、現場経験の場を提供し、実践する姿を示す時間を割いていただく皆さまへ



皆さまは．．．

特定事業所の担当ケアマネジャーとして、困難ケースを受け入れる役目を積極的に担われると共に、地域づくりと政策提言までを視野に入れた支援をこなしつつ、後進の介護支援専門員を育てる重責も担われている **‘素晴らしい事業所の素晴らしい人財’** であり

今回の受け入れは、まさに「介護支援専門員の卵を育てる一翼を担う」という、**究極のスーパーバイズ**の機会と言えるのではないかと思います。

実際に実習を終えたの実習生の声

- テキストや講義演習で学んだことが、実際の場面を見ることで理解が深まった。
- サービス担当者会議に参加させてもらい、連携の重要性が理解できた。
- 指導者のケアプランを見て、インフォーマルをしっかりと活用しているのが印象的だった。

などなど、大半が「実習よかった！」という振り返りでした。



実習指導上の様々な工夫は、ダイレクトに実習生に影響しています

- 業務内容全般を漏れなく見てもらえる工夫をした。
- 個別地域ケア個別会議の開催日を1～2月で依頼しておき、参加できるように工夫した。
- サービス担当者会議のシナリオを作り、事業所内でロールプレイして準備した。
- 実習者の経歴（相談員やサ責経験者等）に合わせた訪問宅の選定、実習内容を考えている。

しかし、ごく小数、こんな声も…

- （体調不良等やむを得ない事情はあったにせよ）サービス担当者会議や退院カンファレンスなど、参加できなかった。
- 模擬ケアプラン、修正されるだけで、どうしたらいいのかの説明がなかった。自信がなくなりあきらめた。
- 講義演習で学んだ、ICFシートや課題整理総括表について、「実際には使わないし、使っていないから知らない」と言われた。
- ケアマネジメント全般が見られると思っていたのに、給付管理について学べなかった。

オーマイガッ



なので、これは (ないと思いますが) NGです・・・

●「ケアマネなんて大変なだけだよ」

(大変なだけの理由をこそお伝えを。声に出さなくとも顔の表情、事業所の雰囲気も感じ取りますよね)

●他の事業所、介護支援専門員の陰口 (当然ですね)

●模擬ケアプラン作成にて、熱血過ぎてダメ出し全開での指導 (赤ペン先生は減りましたが…)

(確かにティーチングもこの段階では必要かと思いますが、があくまでコーチングを主に、実習生さんの考える時間をとっていただき、支持的な指導・助言でお願いしたいです)

●実習簿での実習担当者からのコメント欄を、一行で済ませてしまう

(実際にケアマネジャーになったとき、そのコメントをずっと大切にしている方が実際おられます)

【模擬ケアプラン作成実習指導上の留意点】

ケアプランを赤で直さなければならない場面もあるかと思いますが、受講生がなぜそう思ったのかを、確認していただくようにお願いします。

研修の目的は、素晴らしいプランを作成することではなく、アセスメント～プランニングの思考過程を理解し、経験できることです。実習生本人の気づきを促す、コーチング的、指導・助言でお願いします。

コーチング

なぜ〇〇と
思ったの？

- ・問題解決能力
- ・自主性
- ・モチベーション

主任CM
(指導者)
※質問攻めにならないよう
注意する
※傾聴の姿勢

質問・傾聴

思索・気づき



答え

・(〇〇が)〇〇だ
と言われたからです
・△△を見たから
です

実習生
※言語化すること
からの気づき

ティーチング

教える {
・知識・情報
・技術・スキル

答え

×「時間がないから…」
×「理想的なプランとは
こうあるべき」を
押し付ける

知識・技能
レベルが向上

第13章 ケアマネジメントの 基礎技術に関する実習

ハ訂テキスト
下巻P26

【修得目標】

- ① ケアマネジメントプロセスの実践にあたっての留意点を踏まえ、観察した結果を盛り込んだ実習報告書の作成ができる
- ② ケアマネジメントプロセスについて、指導者のもと、実習先で体験した結果を盛り込んだ実習報告書の作成ができる
- ③ 実際の生活環境を観察した結果を盛り込んだ実習報告書の作成ができる
- ④ 実習協力者の状況に合わせて実習を実施できる
- ⑤ 給付管理業務の流れを述べることができる

第13章 ケアマネジメントの 基礎技術に関する実習

【内容】

- ・ 実習にあたっては、利用者への居宅訪問を行いアセスメントの実施、居宅サービス計画書の作成、サービス担当者会議の準備・同席、モニタリングの実施、給付管理業務の方法など一連のケアの実習を行う。

実習生にぜひ伝えてほしい、 聞いてほしいこと

- あなたはどうしてケアマネジャーの資格を取りたいと思ったのですか？
- 私はどんなケアマネジャーになりたいと思っているのか、何を大事にしているのか、あなたにこんなケアマネジャー像を持ってほしいと思っています（ということ）

とどのつまりは

ぜひ「ロールモデル」になっていただきたい

ロールモデルとは・・・

自分にとって、具体的な行動や考え方の模範となる人物のこと。人は誰でも無意識のうちに「あの人のようになりたい」というロールモデルを選び、その影響を受けながら成長するといわれます。

こんなケアマネ
になりたい！



ー具体的な実習指導担当者さまへのお願いー

【選定する利用者編】

- 選定する利用者についてですが、合計4回は実際の場に出向くことができます。そのため、**ケアマネジメントプロセスを網羅しつつ**、できるだけ多くの状況・状態の方（例えば男女の別、年齢層、世帯、疾患による違い等）を見ることができるようなお配慮をお願いいたします。

ー具体的な実習指導担当者さまへのお願いー

【インテーク編】

- インテークについてですが、なかなか実習中にタイミングよくその場面に当たることは少ないかと思います。

事業所において使用されている受付シートなどで、過去の実際の対応等をご説明いただければと思います。

ー具体的な実習指導担当者さまへのお願いー

【適切なケアマネジメント手法の活用編】

- 昨年（令和6年）より、研修に適切なケアマネジメント手法が取り入れられています。こちらについては、受け入れ事業所の皆さまは基本的なことは研修等で学ばれておられるかと思います。
- 実習生の皆さまは、この新たな手法を取り入れたケアマネジメントを学ぶわけですが、研修前半ではほとんど扱いませんので（実際は実習後の後期から学ばれます）、それほど深く知識を得て実習に来られるわけではありません。

ー具体的な実習指導担当者さまへのお願いー

【適切なケアマネジメント手法の活用編】

- またこの実習の目的は、まずは基本的なケアマネジメントプロセスを知っていただく過程としてのモニタリング訪問、会議の雰囲気を知ってもらうことが主目的となります。
- ただ実習生さんによっては、『適切なケアマネジメント手法をどうプランに取り込まれているのですか？』等、質問があがってくる可能性があります。
- その時に少なくともケア項目一覧等の見方は伝えていただけるようお願いいたします。そして「我々も手法活用の面では一年生、共に学んでいきましょう」とエールを送っていただければと思います。

ー具体的な実習指導担当者さまへのお願いー

【アセスメント編】

- アセスメントについては、講義演習ではICF(思考による情報整理・分析)シート、課題整理総括表を使用し、仮想事例を用いて演習を進めています。実際の事例は実習が初めてになります。その考え方・思考過程を、現場に即した形で伝えてあげていただければと思います。
- そして力を入れているのは「利用者・家族の意向」の把握についてです。担当者の「望む生活」とは何か、その把握のために工夫されていることをぜひお伝えいただければと思います。

ー具体的な実習指導担当者さまへのお願いー

【課題整理総括表編】

- **課題整理総括表**については、実習前の講義演習でもテキスト事例に基づき作成演習を行い（特に「阻害要因」と「見通し」の考え方と書き方に力を入れています）、研修後半でも6類型（脳血管疾患・認知症・大腿骨頸部骨折・心疾患・誤嚥性肺炎・看取り）の演習で使用します。ぜひ今一度『課題整理総括表の手引き』に基づき、ご説明ご指導のほどよろしくお願いいたします。

※サービス担当者会議などで活用している場面を見せていただければ、より活用方法が理解できるかと思います…

ー具体的な実習指導担当者さまへのお願いー

【サービス計画編】

- **居宅サービス計画書（ケアプラン）**については、サービス担当者会議等やモニタリング訪問の前に見せていただき、どのようなアセスメントでその計画となったのかをご説明していただいた上で、会議や訪問が、そのプランの課題の変更やモニタリングによるプランの修正の発見といった、ケアマネジメントプロセスの一環であることを意識させていただければと思います。

一具体的な実習指導担当者さまへのお願いー

【会議編】

- サービス担当者会議や地域ケア個別会議等へ参加していただく場合には、準備段階からポイントや留意点等をお伝えいただき、共に会議に臨めるようご配慮をお願いいたします。
- またサービス担当者会議後の会議録についても、実際にどのような記録になるのかを見せていただければと思います。より実践的な学びになります。

ー具体的な実習指導担当者さまへのお願いー

【モニタリング編】

- **モニタリング**訪問では、短期目標の達成状況の確認という主目的があるかと思います。ぜひ貴事業所での達成状況の確認方法の工夫点をお伝えください。その際お使いの**モニタリング表**などもご持参いただき、一緒に確認記載するなどしていただくと、実践の仕方が分かるかと思います。

とはいえ、実習指導上での皆さまのお悩みも聞こえてきます

- 計画を事前に出さないといけなないので暫定で作るが、その通りにいったためしがない。
- 通常業務との時間配分に苦勞した。
- 相手は高齢者様であり、急な体調不良等もありうることから柔軟な対応が求められる。
- 「ケアマネはしません」と言われている実習者への指導はモチベーションが上がりません（複数）。



それらを乗り越えて、皆さまへお願いしたいこと

「ケアマネジャーって大事だな！」

「ケアマネジャーっていいな」

と思っただけのよう、やりがいて
やい、性、魅力、未来の仲間・後進
を育てる、後押しをお願いしたいと思
います。

※毎年、実習後「ぜひやってみたい！先輩の応援のおかげ…」と話される方がおられます。

最後に



- ひよこは、生まれて初めて見たものを親だと認識する、という話があります。
- ほとんどの実習生は、介護支援専門員の実務を目にするのは初めてだと思います。
- ぜひ、ロールモデルとなり、実習生が「ケアマネジャーの仕事がしたい、こんなケアマネジャーになりたい」という姿を見せてあげていただければと思います。



ご清聴ありがとうございました